

兵庫県神戸市

テーマ:「人が主役のまち」「居心地の良い歩きたくなるまちなか」



【立地適正化計画】
 令和2年3月公表 (都市機能誘導区域)
 令和2年3月公表 (居住誘導区域)
 【都市再生整備計画 (滞在快適性等向上区域)】
 令和2年4月公表

○ 再開発が進む三宮駅周辺エリア及び新神戸から三宮駅周辺・東遊園地・ウォーターフロントをつなぐ南北に広いウォークアブル区域において、**三宮クロススクエアを中心とする広く豊かな広場空間の創出やエリアマネジメント・Park-PFIなどの官民連携事業等、様々なハード事業とソフト事業を組み合わせ、人が主役の居心地の良い歩きたくなるまちなかを創出する。**

ハード事業

- 阪急三宮駅北側エリアの再整備と利活用
神戸三宮阪急ビル開業に伴い、**さんきたアモーレ広場及びサンキタ通り**を歩行者中心の空間として再整備。継続的にぎわい創出の仕組み・体制づくりを行うため、**今後官民連携による組織を設立し、利活用の検討・実施を行う。**
- 知的交流拠点 (アンカー神戸) の開設
令和3年4月完成予定の神戸三宮阪急ビル15階に、スタートアップや医療産業都市進出企業、大学など、**様々な知が集結・交流し、新たな価値の創発する場「神戸市知的交流拠点」**を開設予定。
産学官連携を基盤にした業界の垣根を越えた実践的なプログラムを実施。
- 三宮中央通りの活性化
三宮プラッツや三宮中央通り地下通路のリニューアルなどのハード整備に併せて、民間事業者による三宮プラッツ活用事業、地元協議会によるオープンカフェ・露店による道路利活用事業に取り組み、**官民連携によるまちのにぎわいづくりを推進。**
- 地下街「さんちか」の活性化
三宮駅地下線の整備
・ビッグデータの活用
・人流見える化実証実験
- 三宮中央通りの活性化
地下通路のリニューアル
・三宮プラッツ利活用事業
・道路利活用事業
- 阪急三宮駅北側エリアの利活用
さんきたアモーレ広場・サンキタ通りの再整備、大型ビジョン設置、異常高温対策
・官民連携による組織を設立
・知的交流拠点の開設

ソフト事業

- 三宮クロススクエアの整備と利活用
駅前幹線道路を人中心の広場空間へ転換する三宮クロススクエアを整備。生まれた空間は、**官民連携のエリアマネジメントによる利活用を行うことで、にぎわいのある居心地の良い空間を創出。**
- 三宮南エリアにおけるパークコネクットの推進
エリア全体の魅力向上やにぎわいに繋がるよう、**主要3公園 (東遊園地・磯上公園・みなとのもり公園) の個性を活用・連携したパークマネジメントによる高質空間づくりを展開させる。**
- 東遊園地再整備とPark-PFI
令和5年度に再整備完了予定で、**公園の一部はPark-PFI制度を活用し、屋外図書館、貸し会議室・スタジオのあるカフェやレストランを整備する。芝生ひろばや歩道に面した、多様な利用に対応するにぎわい空間を創り周辺エリアも巻き込んだ「まちづくり」に発展させる。**
- 新神戸駅の駅前空間の活性化
駅前広場、生田川公園の再整備
- 三宮クロススクエアの整備と利活用
クロススクエア段階整備
「えきまち空間」におけるエリアマネジメントの推進
- 磯上公園の再整備
パークコネクットの推進
- 東遊園地の再整備
PARK-PFI制度の導入

目標設定

三宮～ウォーターフロント、三宮～新神戸のアクセスルートの歩行者通行量
 (従前値: 平成31年度)
 8,500人/12h
 (目標値: 令和5年度末)
 10,500人/12h

買い物や食事などの目的で都心部を訪れる頻度について、1ヶ月に2~3回程度以上と回答する割合
 (従前値: 平成31年度末)
 55%
 (目標値: 令和5年度末)
 62%

市街地の観光入込客数
 (従前値: 平成31年度)
 1,357万人/年
 (目標値: 令和5年度末)
 1,420万人/年

コミュニティサイクルの利用回数を導入する自転車台数と運営日数で除した数値
 (従前値: 平成31年度)
 1.5回/台・日
 (目標値: 令和5年度末)
 1.6回/台・日